

学生・教職員 の皆さんへ

令和 2 年 12 月 23 日
島根県立大学
島根県立大学短期大学部
学 長 清 原 正 義

新型コロナウイルス感染症への対応について

国内外を問わず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が日々報告されており、引き続き予断を許さない状況にあります。感染防止については、たくさんの防止対策がとられていますが、それにも関わらず感染が拡大しています。

これから年末年始を迎え、帰省に加え出歩く機会や様々な会合に出席する機会が増えることが想定され、当然感染リスクが高まります。

これまでもご協力いただきたい事項をお知らせしていますが、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の「忘年会・新年会・成人式等及び帰省についての提言（令和2年12月11日）」、島根県からのお願いや県内外での感染拡大をうけ、改めてご協力いただきたい事項をお知らせします。

特に、上記の政府分科会からの提言では、命と暮らしを守るためには、社会を構成する一人ひとりが年末年始を静かに過ごすことが必要であり、忘年会・新年会、帰省などについて工夫をするようお願いされています。是非、ご一読ください。

また、大学ホームページに、本学の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る教育・研究・諸活動に関する方針」を掲載していますので、ご確認ください。

新型コロナウイルス感染症に関わる状況は常に変化していますが、引き続き『感染しない・させない』という心構えが重要であり、そのためには個々の良識ある行動が必要となります。改めて、各自が適切な行動に努めていただくようお願いします。

記

(基本的な感染対策の徹底)

感染を防ぐため、感染リスクが高まるとして政府が注意喚起している「5つの場面(①飲食を伴う懇親会等、②大人数や長時間に及ぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり)」(別添参照)に注意し、引き続き、

- 「三つの密」の回避
- 「人と人との距離の確保」
- 「マスクの着用」
- 「手洗いなどの手指衛生」

など、基本的な感染対策に継続して取り組んでください。

(感染拡大地域への移動)

感染拡大が報じられている地域への不要不急の移動は自粛してください。なお、やむを得ずこれらの地域へ異動する際には、感染予防を徹底し、十分に注意してください。

(飲食店の利用)

アルコールを伴う飲食については、感染症拡大防止対策を徹底している店舗を利用すること前提として、特に、大声を出さない、間隔を開けて座るなどの点に注意してください。

また、繁華街の、接客を伴う飲食店等への出入りを、当面控えてください。

(接触確認アプリの活用)

厚生労働省が提供している接触確認アプリ(COCoA)を、感染拡大防止のため、積極的にインストールし、活用をお願いします。

(感染された方などに対する偏見や差別防止のお願い)

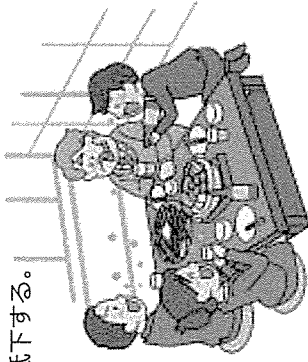
感染された方やその関係者などに対する、インターネットやSNSなどでの誹謗中傷、うわさ話などは厳に慎み、県や市町村などの公的機関が発信する情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をとるよう、重ねてお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①

飲酒を伴う懇親会等

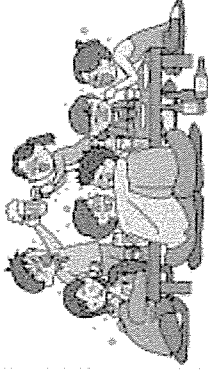
- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面②

大人数や長時間におよぶ飲食

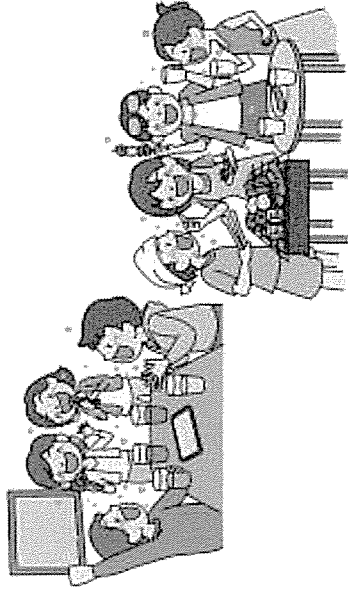
- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③

マスクなしでの会話

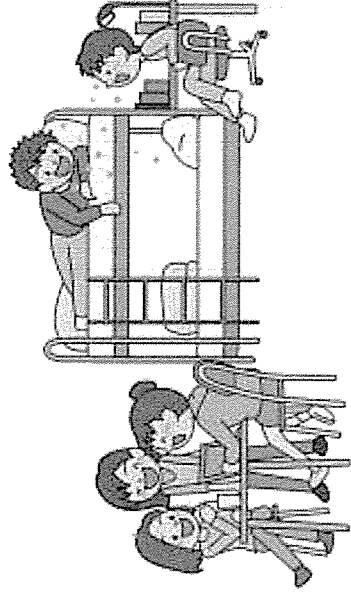
- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログル球菌感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

